

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2024年 第10週 (3/4-3/10) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	定点	10週	9週	8週	7週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数 「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	*インフル/COVID	28	28	28	28
	基幹	1	1	1	1

\*正式名称は  
インフルエンザ/COVID-19定点

定点	感染症名	注意報	千		葉		市		千葉県
			3/4-3/10	2/26-3/3	2/19-2/25	2/12-2/18	2/26-3/3		
			10週	9週	8週	7週	9週		
小児科	RSウイルス感染症		2	1	1	2	20		
	咽頭結膜熱		6	8	6	2	69		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	101	81	66	55	582		
	感染性胃腸炎	○	129	106	96	138	676		
	水痘		1	5	3	0	22		
	手足口病		0	0	0	0	3		
	伝染性紅斑		0	0	1	0	2		
	突発性発しん		7	8	6	4	28		
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	1		
	流行性耳下腺炎		0	0	4	0	3		
*インフル/COVID	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	★◎	580	375	436	501	3,210		
	新型コロナウイルス感染症	○	143	116	152	192	1,560		
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1		
	流行性角結膜炎		1	1	0	2	13		
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0		
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0		

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

## 2 全数報告対象疾患: 9 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	病原体の分離・同定	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	男性	70歳代	細菌の分離・同定、 薬剤耐性の確認 及び起因菌の判定
	男性	50歳代	IGRA検査等		男性	80歳代	細菌の分離・同定 及び薬剤耐性の確認
	男性	70歳代	IGRA検査				
レジオネラ症	男性	70歳代	病原体抗原の検出	梅毒	女性	10歳代	血清抗体の検出
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	男性	40歳代	血清抗体の検出等	梅毒	男性	20歳代	

・第10週は、結核3例(35)、レジオネラ症1例(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症2例(3)、後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)1例(1)、梅毒2例(16)の発生届があった。

※ ( )内は2024年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第10週のコメント

### <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週よりやや増加し5.61となった。過去10年の同時期と比べると引き続き最多のまま。年齢階級別の報告数は6歳が最多。区別では、緑区(9.75)が流行発生警報開始基準値(8.0)を上回り最多で6歳の報告が最も多かった。

### <感染性胃腸炎>

前週よりやや増加し7.17となり、過去10年の同時期と比べると最多となった。10歳未満の年齢階級別の報告数は4歳が最多。区別では、緑区(10.75)からの報告が最多で10歳未満では1歳の報告が最も多かった。

### <インフルエンザ>

前週より増加し20.71となった。依然として流行発生注意報基準値(10.0)を上回ったまま。過去10年の同時期と比べると多く、10歳未満の年齢階級別の報告数は9歳が最多。区別では、緑区(28.20)が流行発生注意報基準値を上回り最多で10歳未満では9歳の報告が最も多くあった。他に中央区(27.40)が流行発生警報終息基準値(10.0)を上回り、残りの4区は全て流行発生注意報基準値を上回った。

### <新型コロナウイルス感染症>

前週よりやや増加し5.11となった。年齢階級別の報告数は40歳代が最多。区別では、中央区(10.80)からの報告が最多で40歳代の報告が最も多かった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph\\_ward2023.pdf](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2023.pdf)